

**平成31年度（2019年度）介護サービス・介護予防サービス  
給付実績（対計画値、対前年度比較）の概要について**

平成31年度の介護給付費の執行状況は、計画値の95.0%となり、前年度比で1.5%増加しました。全国的には介護給付費の増加が問題となっているところですが、現役並み所得の方の自己負担割合が3割に増えた（給付費は7割に減った）こと、また、中野区の場合、後期高齢者数が全国平均に比べてそれほど伸びていないことも影響したものと考えられます。

サービスごとの年間計画値や前年度の実績値との比較は次の表のようになりました。

内訳として、これまでも介護予防サービスが介護サービスよりも伸び率が高い状況が続いており、今年度についても同様です。要支援1・2の方の割合が国・都平均よりも高い傾向があること、事業対象者数の伸びが大きかったことが要因と考えられます（平成30年度末838人→平成31年度末1,059人）。

地域密着型サービスは、区内に事業所が整備されたことに伴い実績も伸びています。

また、住宅改修については、介護サービス・介護予防サービスとも昨年度の実績を下回りました。計画では在宅生活を支えるニーズがあると推計しましたが、対象工事の費用のうち、20万円までを支給対象とする要件から、過去にも限度額まで利用した方がピークに達した翌年度には前年度実績を下回ったことがあり、今回も同様の現象と考えられます。

	平成30年度	平成31年度		比較	
	年間実績 (千円) (A)	計画値 (千円) (B)	年間実績 (千円) (C)	対計画値 比率 (C)/(B)	対前年度 増減比率 (C)/(A)
<b>I 介護サービス</b>					
(1) 居宅サービス	9,302,061	9,525,391	9,375,975	98.4%	100.8%
(2) 地域密着型サービス	2,686,830	2,941,440	2,775,769	94.4%	103.3%
(3) 住宅改修	34,434	45,735	33,022	72.2%	95.9%
(4) 居宅介護支援	867,094	871,837	851,992	97.7%	98.3%
(5) 施設サービス	4,866,258	5,550,855	4,930,605	88.8%	101.3%
介護サービス計（I）	17,756,677	18,935,258	17,967,363	94.9%	101.2%
<b>II 介護予防サービス</b>					
(1) 予防居宅サービス	737,872	791,730	792,326	100.1%	107.4%
(2) 地域密着型サービス	10,080	11,284	10,809	95.8%	107.2%
(3) 住宅改修	31,806	39,731	28,856	72.6%	90.7%
(4) 介護予防支援	117,625	135,781	124,643	91.8%	106.0%
介護予防サービス計（II）	897,383	978,526	956,634	97.8%	107.0%
合計（I）+（II）	18,650,855	19,913,784	18,923,997	95.0%	101.5%

※給付実績は、実際の利用月でなく審査月（利用月の翌月）で見ることになっているため、1年度分（4月から3月まで）の給付実績の実際の利用月は、前年度末の3月から1年後の2月までとなります。